

成果の説明書

(氏名)服部 昌彦	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・学術雑誌 Manchester School に学術論文 “Advertising in an oligopoly with differentiated goods under general demand and cost functions: A differential game approach” が掲載・学術雑誌 OPSEARCH に投稿論文 “Dynamic analysis of R&D in an oligopoly under general demand and cost functions” が掲載・学術論文” A differential game analysis of R&D in oligopoly with differentiated goods under general demand and cost functions: Bertrand vs. Cournot” の執筆・微分法、線形代数学を学習し、微分ゲームを用いた動学的な経済理論の研究を行うための準備を行った。・産業組織論、ゲーム理論の研究会に参加し理解を深めた。 産業組織論では特に近年活発に研究されている実証的産業組織論の構造推定について理解を深めた。ゲーム理論においては、メカニズムデザインの理論的研究や、ゲーム理論を用いた気候変動に対する国際協定の仕組み作り等に関する理解を深めた。	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・論文レフェリー (Japanese Economic Review)・論文レフェリー (経済政策ジャーナル)・高校生の総合学習指導・出前授業 (所沢北高校) 商学部や経営学部と経済学部の違い、イノベーターのジレンマに関する解説を行った・大学院進学希望学生への学習指導、進路指導・高崎経済大学経済学部経済学会理事 (2021 年 4 月～)・懸賞論文レフェリー (高崎経済大学 経済学会主催)	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <ul style="list-style-type: none">・研究論文の執筆と投稿 <p>数年間にわたって続けている微分ゲームを用いた動学的な分析を行い、研究論文の執筆と学術誌への掲載を目指す。また、近年話題になっている MMT に関するマクロ分析の理解を深め、学術論文の執筆を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none">・ミクロ経済学の基礎理論の確認・授業外で自主的な学習を行う学生の支援	